



vol.32
2014.7.1発行

Digest

みんな元気に「輝いて生きる」

それが私達の
願いです。

名張育成会の「今！」がわかる

MiRAi と MiRAi report

そして 輪 プログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。「Café & Gallery 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUブログMIRAI 検索

MIRAIレポート 名張 検索

YOUブログRIN 検索

発行：名張育成会MIRAIプロジェクト 社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：男武正基(社会福祉法人名張育成会) 編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字：千秋育子

チャレンジを支える

～の一まらいふ暖の相談支援事業～

大人の階段をのぼりたい…米沢一馬さんのケース

先月に続いてご紹介するのは「の一まらいふ暖」が行ってきた相談支援のひとつのケース米沢一馬さん(24歳)について。

一馬さんが「ラスムッセン症候群」を発症したのは小学校1年生の時。原因がなかなか分からず、2年も過ぎてやっと診断された難病だ。当時日本では6人、世界でも100人程しか症例がなく、発作が頻繁に起こり、約70%くらいの人が知的な後退がみられるという進行性の病気、今でも治療法はわかっていない。(現在は日本で約250人)。



「とも」での日中活動の様子。正義感の強い一馬さんは、インタビューでも「仕事は頑張ってるもの」と語ってくれた。



5月に行われた「園まつり」にて。生き生きと一日祭りを楽しんだ。

一馬さんは、頻繁に発作を起こし、急に倒れたり、大きな声を出したりするなど重い障害を持っているのだが、発作が起きている時以外は元気に走ることも話すこともでき、外面的には障害を持っていることが分かりにくい。小さい時から正義感が強く、お母さんや職員などに対して「僕が守ってあげる」というような男らしい一面があった一馬さんは、発作で自分の身体が思うようにならない時など、周囲の目や理解されないことに対する反発を強く見せる場面もあった。

そんな中、18歳から名張育成会の事業所「とも」で日中活動をするようになった時は、ちょうど大人へと成長していく段階で、職員も保護者も本人ももどかしい思いをたく

さんしたという。活動に集中することも難しかった。

しかしそんな一馬さんに一つの転機が訪れた。「とも」が終わってから2時間、名張育成会の事業所「成美」で日中一時預かりのサービスを利用して過ごすことになったのだ。

「成美」で過ごすようになって一馬さんは施設で暮らすたくさんの大人たちの生活を目の当たりにすることになった。そしてこんな思いが芽生えた。

「自分の家じゃないところに一人で泊まってみたい」

年齢にふさわしく、大人の男でありたい一馬さん、しかし一方で発作による命の危険を心配して保護者も、職員も「宿泊は難しい」と

感じていた。

「の一まらいふ暖」がスタートしたのはちょうどその頃だった。計画相談支援のため、「暖」の担当者で一馬さんや保護者との面談が行われる中で、担当者は一馬さんの希望を知った。「その時、難しいです、危険です、できません、ではなくどういう支援体制を整えばご本人の希望がかなえられるのかを考えました。」と振り返る。

そして宿泊サービスを利用する「成美」の職員と保護者と本人それぞれをつなぐ橋渡し役をし、周到的な準備の上、週に一度の宿泊の利用が始まった。

すると一馬さんに変化が起きた。これまでどちらかと言えば職員を振り回す立場だった一馬さんが

集団生活のなかで折り合いをつけるルールを守るという力を発揮してきたのだ。

「それはもともとご本人が持っていた力だったんだと思います。希望がかなえられた満足、そして自分が頑張ってる夢を実現させたという自信から、「とも」での日中活動でも集中して取り組めるようになったり、生活全般にいい影響が出ています」と語るのは担当した相談支援専門員。「夢やチャレンジを可能な限り支えていく。それが「その人らしく輝いて生きる」ことに寄り添っていく相談支援のあり方だと思っています」と、その根底に流れる熱い思いを見せてくれた。

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。

入所生活支援(成美)

スポーツ大会

先日、四日市までスポーツ大会に行ってきました～!!!
 雨が少し降っていましたが…ドームの中でしたので全然余裕のよっちゃんでした(笑)→古いつつこまないでね???ではでは…どんな様子だったか紹介します。
 まずはみんなで赤組と白組に分れて玉入れをしましたよ。みんな無我夢中で投げていました。成美のみんなは白組でしたが、見事に白組が勝ちましたよ。さすが成美のみなさんですね!
 次はですね…パン食い競争ですよ～
 「よ～いドンっ」の掛け声で一直線にパンの下へ!!!
 頑張っていますね～!!!
 取れたパンはもちろん美味しく頂きました。
 みなさんすごく楽しんでいました。
 いい汗かきましたね!!



(連絡先)名張市美旗中村2326
 TEL:0595-65-4518
 E-mail:seibi@n-ikuseien.jp
 ★MiRAiレポートブログの「入所支援グループ」をクリック下さい。

名張市地域活動支援センター(ひびき)

オレンジヴォイスロゴTシャツ

オレンジヴォイスは、名張市障害者地域活動支援センター「ひびき」の利用者が、希望を持って前向きに生きていこうと2007年に結成した男女混成のコーラスグループです。
 オレンジヴォイスといえば、出演時のオレンジのバンダナと譜面が定番なのです。でも、それだけじゃなくて、みんなでお揃いの服も着たいなあと以前から考えていました。そこで、オレンジヴォイスのロゴを使ったTシャツを作ろう!という事になったのです。
 オレンジヴォイスのロゴマークは2年前にメンバーの1人が作ってくれました。メンバーは、O.V君(オーブイクン)と呼んでいるんですが、Orange Voiceの頭文字をとったわけですね。
 可愛いだけではない、かっこよさもあるこのロゴマークを、グレーのTシャツにプリント!どうですか。なかなか良いでしょ!!
 オレンジのバンダナとTシャツで、歌もばっちり。これからTシャツが活躍することでしょう。応援をよろしくお願いします。



MiRAi report

ブログより

名張育成園の活動、ひとつずつ!

名張育成園では、赤ちゃんからおじいさん、おばあさんまでが、毎日さまざまな活動をしながら地域の中で暮らしています。そのような方の暮らしぶりやスタッフの活動などを紹介するブログ「MiRAi-report」から、選り抜きの話題をピックアップしました。ほんの少しからでも福祉に親しみを持っていただけるよう、思いを込めてご紹介します。

<http://www.you-blog.jp/blog/mirairereport/>



名張市地域活動支援センターひびき
 住所:名張市美旗中村2326番地
 ※ひびきはレインボークラブと同じ建物にあります
 TEL:0595-67-4177
 FAX:0595-65-5233
 ★MiRAiレポートブログの「精神保健支援グループ」をクリック下さい。

くらしサポート ゆっくる



演奏が始まるまで…

今日は、年に一度の晴れ舞台…そう、名張育成会の「園まつり」。オープニング前、会場は各々の準備でざわついている。
 そんな中、トレードマークの赤い帽子を被った彼は、人の多さに少し緊張気味…フェンス脇に腰を下ろし、「うん、今日も大丈夫」と、自分に言いかかっているよう…
 「いつも通りにやったらええねん、僕上手やで～」と、顔なじみのメンバーが笑顔を見せてくれる。その声を聴いて、やっと「リュックサック」を下ろすことができた。
 「うん、練習してきたし、大丈夫やっ」青空を見上げつつ、自分を信じて、彼は、太鼓のバチを強く握りしめる。
 「よしっ、気合入ってきた、ハッっ。」
 さあ、演奏が始まる…
 この日を楽しみに来てくれた人たちのために…
 そして、自分のために…
 太鼓を叩く…
 そんな、「太鼓が大好きな」彼らの一途な姿に、胸が熱くなりました。

(連絡先)名張市夏見4-1
 TEL:0595-62-0305 E-mail:yukkuru@n-ikuseien.jp
 ★MiRAiレポートブログの「ケアホーム支援グループ」をクリック下さい。

放課後等デイサービス(ゆうら)



忍者に変身☆

ゆうらの体験教室、今回は伊賀忍者フェスタに参加してきました。
 忍者の衣装はとてもカラフルで、忍たま乱太郎のようでした。
 それぞれ好きな色を選び忍者に変身!
 ゆうらの“忍たまさん達”は、上野の街を練り歩き…手裏剣体験等に参加しました。
 最後に上野城公園にてお昼ご飯を食べて、広い公園で忍者ごっこを楽しみ、思いっきり走り回って忍者修行に励んでいました。

(連絡先)名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-1066
 ★MiRAiレポートブログの「こども支援グループ」をクリック下さい。